

かんきょう観察会報告 No. 128

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時：2020年3月15日（日） 午前9時30～午後12時10分

観察地域：荒川河川敷（笹目橋周辺）

参加者：長澤、神山、荘司、浅原、川口、宮崎、柏原、山下、山田（計9名）

当日の天気：晴れ

観察結果

シロチョウ科

- ① モンシロチョウ
- ② モンキチョウ（♂♀）

シジミチョウ科

- ③ ベニシジミ

観察概要

午前9時30分に三田線西高島平駅を出発し荒川河川敷（笹目橋）に向かいました。昨日は雪が降り、今日も風が冷たい風が吹いていますが、東京では桜の開花宣言が出ました。笹目橋の方向に向かう大宮バイパスの歩道にはカラスノエンドウが赤い花を咲かせ始めていました。昨年、植え込みで良く目にしていたエノキの幼木は切り取られて無くなっていました（残念）。

笹目橋下流側河川敷土手の南斜面につきました。ここにはヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ナノハナ（セイヨウカラシナ、セイヨウアブラナ）などの花が咲いています。ここは風も弱く、陽が当たって温かくなっていたせいか、モンキチョウ、ベニシジミがたくさん飛び回っていました。

しばらくして、笹目橋の下をくぐり、上流側に移動しました。ナノハナの花が一面に黄色い畑を作っていました。しかし、ここは冷たい北風が吹き抜けるようで、モンキチョウを数匹確認しただけでした。ここから土手を下り、荒川のボート停留場所の方に移動しました。

ここも、冷たい風があたり、モンシロチョウ1匹が確認できただけででした。昨年の台風で増水して水面下に埋もれた木々は新葉を膨らませており、植物は強く生きていることを実感しました。

笹目橋の真下に戻ってきました、ここは風があたらないようで、モンキチョウ（♂♀）、モンシロチョウ、ベニシジミがたくさん飛んでいました。

ここから土手に登り、下流方向に歩きました。土手の南側斜面にモンキチョウ、モンシロチョウ、ベニシジミが盛んに飛び回っていました。

ここらで、昼食を取ることとしました。その後、少し雲がかかってきました。蝶も飛ばなくなり、今日の観察を終わることとしました。

2020年3月15日(日) 蝶観察写真



モンキチョウ♀



モンキチョウ♂



ベニシジミ